

**開催にあたって** 1956年5月1日に発生が報告されて以来半世紀、水俣病は日本が強引に近代化を進める中で惹き起こされたために、またあまりに悲惨であったために、現在もなおこの社会を鋭く問うています。一方で、現在に至っても新たな患者からの認定申請や医療費給付の申し立てがつつき、被害者の総計は10万人とも20万人とも言われています。このような中で水俣フォーラムは、水俣病事件の今日的な意味を発見し、その教訓を語り継いでいくために、水俣病発見の日になんだ記念講演会を毎年開催してきました。東京開催の今回は朝日新聞社との共催で「ともに生きていく」をテーマに、水俣病を通して私たちの社会と自身のありようを考えたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。



**杉本肇**  
すぎもと・はじめ

漁師・水俣病患者。1961年杉本雄・栄子の長男として水俣市に生まれる。両親の病状悪化のため10歳より漁の手伝い。79年上京。93年に帰郷し家族でイロコ漁を営む。2001年水俣市での水俣展開催の中心となる。03年コミックバンド「やうちブラザーズ」を結成。08年栄子死去、意志を継ぎ水俣病資料館語り部。



**丸山定巳**  
まるやま・さだみ

地域社会学。1940年熊本県に生まれる。京都大学大学院修了の後、熊本大学講師となり、69年の「水俣病研究会」の発足に参加、水俣市をはじめ不知火海沿岸住民の現地調査に継続的に取り組む。熊本大学教授をへて2010年より熊本学園大学教授。元・環境省水俣病問題に係る懇談会委員。



**上野千鶴子**  
うえの・ちづこ

家族社会学。1948年富山県に生まれる。京都大学大学院修了の後、東京大学助教授となる。94年「近代家族の成立と終焉」でサントリー学芸賞。2007年の「おひとりさまの老後」はベストセラーとなる。11年東京大学を退職。女性学・フェミニズムとケア問題の研究で12年朝日賞受賞。水俣フォーラム会員。



**中島岳志**  
なかじま・たけし

近代政治思想史。1975年大阪府に生まれる。京都大学大学院修了。近代における日本とアジアの関わりを研究し、2005年「中村屋のボース」で大佛次郎論壇賞。「リベラル保守」宣言」ほか著書多数。朝日新聞紙面審議委員、「報道ステーション」のコメンテーターなどをつとめる。現在、北海道大学准教授。



**大倉正之助**  
おくら・しやうのすけ

能楽囃子大倉流大鼓奏者。1955年神戸市に生まれる。室町時代より続く大倉流宗家の長男として9歳で初舞台。94年、作家・石牟礼道子の依頼により水俣湾埋立地で行われた初の「火のまつり」で演奏。伝統芸能の枠を超え、内外の式典やイベントで演奏を続けている。重要無形文化財総合認定保持者。

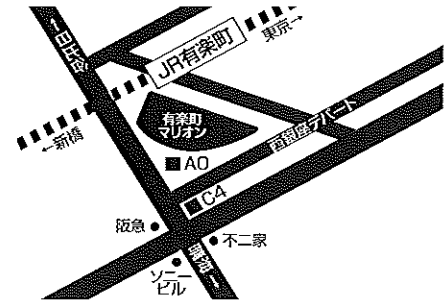
**水俣病ブックフェア 同時開催**  
ノンフィクションはもとより小説、写真集、文庫、新書、絵本など、水俣病に関する書籍130点を一堂に集めて販売します。

**これまでの水俣病記念講演会**

- 40年記念(1996年4月29日、東京)「水俣の事実は現代日本に何を語るのか」  
講師：胎児性水俣病患者5人、石牟礼道子、原田正純、日高六郎 司会：澤地久枝
- 第1回(1999年4月29日、東京)「私たちは何を失ったのか、どこへ行くのか」  
講師：荒木洋子(患者)、石牟礼道子、網野善彦、筑紫哲也 司会：大石芳野
- 第2回(2000年4月29日、東京)「水俣病と現代社会の加害と被害を考える」  
講師：緒方正人(患者)、原田正純、柳田邦男 司会：本間千枝子
- 第3回(2001年4月21日、東京)「この日本に生まれて」  
講師：杉本栄子(患者)、宇井純、大岡信、鶴見俊輔 司会：蓮舫
- 第4回(2002年4月27日、東京)「自然からの剥離の中で」  
講師：川本ミヤ子(患者)、石牟礼道子、C.W.ニコル、森岡正博 司会：長倉洋海
- 第5回(2003年4月20日、東京)「分断と交感を生むもの」  
講師：仲村妙子(患者)、色川大吉、萩尾望都 うた・司会：上條恒彦
- 第6回(2004年4月25日、東京)「改めて原点から考える」  
講師：大矢理日子(患者家族)、原田正純、岡本達明 朗読・司会：竹下景子
- 第7回(2005年5月1日、名古屋)「社会という幻影」  
講師：原武千潮(患者)、富樫貞夫、崔洋一、阿部謹也 朗読・司会：田口ランディ
- 50年記念(2006年4月29日、東京)「新たな50年のために」  
講師：水俣病患者・家族10人、原田正純、柳田邦男、田口ランディ 司会：平田オリザ
- 第8回(2007年5月19日、札幌)「生命へのまなざしを問われて」  
講師：杉本栄子(患者)、原田正純、鎌田慧、長倉洋海 司会：下村健一
- 第9回(2008年4月29日、東京)「目を開き、耳をすまして」  
講師：生駒秀夫(患者)、富樫貞夫、井上ひさし、大石芳野 司会：ピーター・バラカン
- 第10回(2009年4月29日、北九州)「崩壊と蘇生の間で」  
講師：諫山茂(患者)、栗原彬、磯崎新、澤地久枝 司会：三砂ちづる
- 第11回(2010年4月24日、東京)「逆照射される私たち」  
講師：緒方正実(患者)、吉井正澄、池澤夏樹、内橋克人 司会：落合恵子
- 第12回(2012年5月6日、東京)「人間存在の極限に」  
講師：杉本雄(患者)、高橋源一郎、田中優子 司会：斎藤季夫
- 第13回(2013年4月21日、福岡)「花を奉る」  
講師：緒方正人(患者)、石牟礼道子、池澤夏樹、柳田邦男 司会：上條恒彦

**チケット発売中** ※学生料金でご入場の方は、当日、学生証をご提示下さい。未就学児のご入場はご遠慮下さい。

- チケットぴあ(セブンイレブン・サークルK・サンクス)、ローソンチケット(ローソン・ミニストップ)、イーブラス(ファミリーマート・セブンイレブン)で前売券をお求めになれます(所定の手数料がかかる場合があります)。店頭端末操作を簡単にするチケットぴあの「Pコード」ナンバーは「625-951」、ローソンチケットのLコードは「31831」です。
- お知り合いをお誘いいただくためにも、お求めやすい4枚つづり前売券(5000円)は、水俣フォーラムのみの取り扱いですので、下記の方法でお申し込み下さい。
- 郵送をご希望の方は、郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用いただき、口座番号欄に「00120-4-398614」、加入者名欄に「水俣フォーラム」、通信欄に「記念講演会前売券希望」とご記入のうえ、券種・枚数を明記してご送金下さい。ご入金を確認次第、チラシ・チケットをお送りします。なお郵便振替用紙でのお申し込みは、4月25日(金)の受付印で締め切らせていただきます。
- 前売券、当日券とも全席自由席となっていますので、お早めにお越し下さい。



**【会場】有楽町マリオン朝日ホール**  
有楽町マリオン11階 TEL:03-3284-0131  
・JR有楽町駅(銀座口)  
・地下鉄日比谷線 銀座駅(AO出口)  
・地下鉄丸の内線 銀座駅(C4出口)各駅より徒歩1分

この講演会は、東京都生活協同組合連合会、パルシステム生活協同組合連合会、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生活協同組合・東京、大地を守る会、自治労東京都本部、日本教職員組合、東京生活者ネットワーク、創価学会青年平和会議、日本カトリック正義と平和協議会、ジーピーエス、日本フォレスト、グリーン発電会津、ノーリン、環境構想研究所に協賛いただきました。

**認定NPO法人 水俣フォーラム** 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-12 竹内ローリエビル404  
TEL:03-3208-3051 FAX:03-3208-3052 <http://www.minamata-f.com>

【全国の会員980人・会友14,000人による認定NPO法人。水俣病40年を機に「水俣・東京展」を開催するため、1992年に活動を開始。これをもとに97年に発足。水俣病を「鏡」として「近代」と「人間」を問うため、全国での「水俣展」開催を軸に出版やライブラリー開設、「水俣病大学」「水俣セミナー」「水俣への旅」の開催をつづけている。】